

サボテン温室の植栽・展示変更 とその他栽培管理について

磯部実・島田有紀子

植栽・展示変更について

サボテン温室多肉植物コーナーの植栽展示で、展示株が大きくなり過ぎたり、生育が悪くなったものがあったので、令和3年5～6月に植替えを兼ねて植栽変更を行った。この2か月間は新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策期間により臨時閉園し、入園者の安全に注意を払わずに大規模に作業を行うことができた。

主な植栽変更は、アガベ属、ハオルチア属、ガステリア属、ユーフォルビア属、ベンケイソウ科、ツルナ科、キク科などの各植栽・展示コーナーで行った。特にアガベ属植栽コーナーのほとんどの展示株は、大きくなり過ぎて景観が悪くなったり、生育不良となっていたので、全面的に展示植物の交換・植替えとボラ土を使用して土壤改良を行った(写真1、2、3)。またハオルチア属、ガステリア属他では展示植物の交換・植替えを行った(写真4、5)。

新たに展示した植物は、バックヤードにて栽培・保存している生育良好な株で展示効果の高いものを使用した。根を傷めないようにするとともに株の大型化を防ぐために可能な限り鉢植えの状態ですべて掘り出し、鉢が地上部に露出しないように鉢を埋めて植栽・展示した。ただ地面を掘って鉢を埋め込む際に、周辺の大型植物の太い根が広い範囲に伸びておりそれを除去しながらの作業になったので予想以上の手間と時間を要した。

植物解説板の更新と新設

サボテン温室内に設置している植物解説板が、変色等で見た目が悪かったので、修正・更新を行うとともに、新規の解説板を16枚作成・設置した(写真6)。

大型扇風機の増設

春から夏に高温になるサボテン温室の換気を図り、植物の生育促進と入園者の快適性を保つために、これまでは2台の大型扇風機(工場扇)で換気・攪拌を行っていた。本年はさらに上記

効果の向上を図るため、3台の大型扇風機(工場扇)の増設を行い、計5台の大型扇風機で温室内の通気・攪拌を図った(写真7)。

多肉植物寄せ植えコンテナの展示

温室中央東西の細長い鉢物展示コーナー(旧水路)にガイドボランティア製作・協力による多肉植物の寄せ植えコンテナを6器展示して、身近にできる寄せ植え園芸の楽しみ方を提案した(写真8、9)。

今後に向けて

本年植替え・改修作業のできなかつた中・小型のサボテン科やアロエ属その他の植栽コーナーで更新の必要などところがあるので、随時実施していきたい。また植物解説板の更新や新設も随時行い、展示内容の充実を図り、入園者に植物の面白さや不思議さを知ってもらいたいと思っている。



写真1 アガベ属植栽展示コーナー
植替え状況その1



写真2 アガベ属植栽展示コーナー
植替え状況その2



写真3 アガベ属植栽展示コーナー植替え終了



写真4 改植したハオルチア属植栽展示コーナー



写真5 改植したガステリア属植栽展示コーナー



写真6 改修・新設した展示植物説明看板

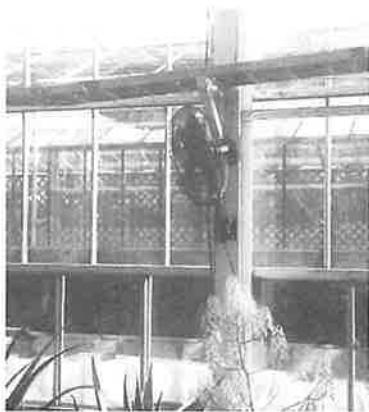


写真7 増設した大型扇風機（工場扇）



写真8 多肉植物の寄せ植え



写真9 多肉植物の寄せ植え